

山梨県グリーフケア従事者研修

流産・死産を含め子どもとの死別は、悲しみが強く、その対応には慎重な配慮が必要とされていることから、流産・死産を経験した方を含む子どもを亡くした家族に支援する従事者の対応力向上を図ることを目的に研修会を開催します。

日時 令和6年11月18日(月)
午後5時45～7時30分

場所 山梨県立中央病院 2階 多目的ホール

先着
30名

“グリーフケア”は医療、地域どちらでも必要なことです。

重要なケアではありますが、経験不足からケアに自信が持てないこともあるのではないのでしょうか。
今回は流産・死産などの周産期領域を中心にグループワークを交え研修します。

参加対象者

市町村・保健所・医療機関の医師、保健師、助産師、看護師、心理士等

内容

- (1) 講義
「子どもを亡くした方への支援について」
- (2) グループワーク
- (3) その他

申込期限

令和6年11月1日(金)

参加申込については、裏面を参照ください。

講師

湘南鎌倉医療大学

蛭田 明子 教授

経歴

1999年～2009年日本赤十字社医療センターに勤務。2010年聖路加看護大学博士後期課程修了後、聖路加国際大学にて助教・准教授。2022年より現職。2006年より聖路加国際大学PCC事業天使の保護者ルカの会の活動に参加。令和2年、及び令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業検討委員会に座長、検討委員としてそれぞれ参加。

お問い合わせ先

山梨県子育て政策課母子保健担当

TEL 055-223-1425

FAX 055-223-1475